

抄録

演題 歯科医療安全を確保し、歯科技工の持続可能性を高める為に  
歯科技工士の需要と供給、情報発信を考える

日本歯科技工士会生涯研修認定講師（教養）

公益社団法人 日本歯科技工士会 前常務理事 岩澤 毅

令和3年1月15日（金曜日）は、歯科技工士をはじめとする医療関係者が、この日までに業務従事者届を就業地の所管保健所する日でした。コロナ禍による影響は、統計に直接は現れないと思われませんが、記憶されるべき時期の統計資料になるものと思われます。

この統計は、行政当局が様々な政策を立案・執行する上での基礎資料となるべきものです。またこの統計は、私たち歯科技工士自身が歯科技工士・歯科技工所を知る上でも基礎資料となるものです。

本日の研修会では、公開されている行政の統計資料等から、現在の歯科技工士・歯科技工所の一側面を解き明かして、安心・安全な歯科技工と歯科医療、歯科医療安全の実現の為の道を考えてみたいと思います。

また、我々歯科技工士の弱点と思われる歯科技工士自らの社会や業界への情報発信について、いくつかの実例をあげて考えてみたいと思います。